



HYPERDRIVE DESIGN

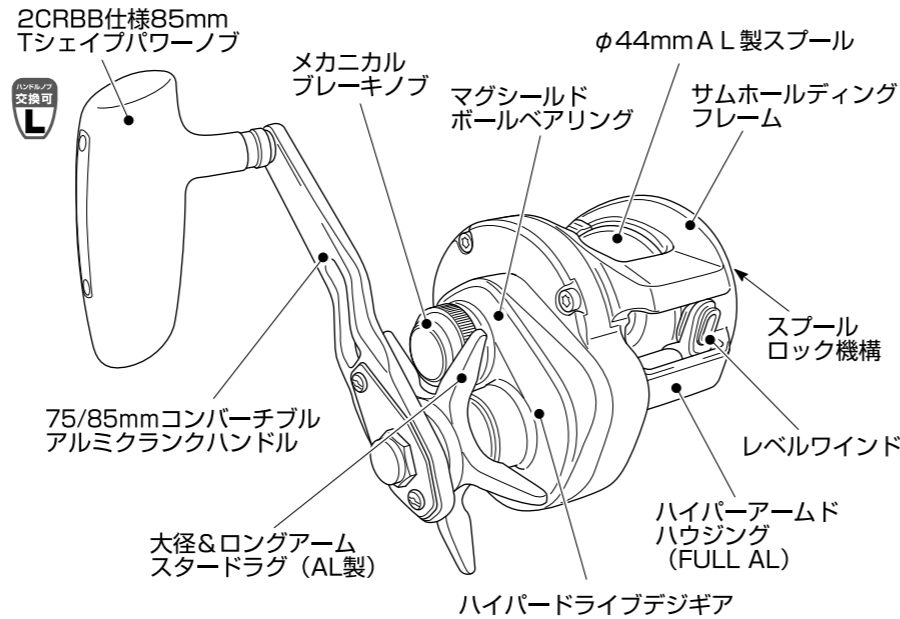
SALTIGA

300/300L/300H/300HL

取扱説明書

●各部の名称と操作方法

この度は、SALTIGA 300 シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品は、高い基本性能が長く続くことを目指し、全ての基本性能の水準を大幅に高めた設計思想「HYPERDRIVE DESIGN」を採用しています。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



●取扱い・保管上の注意

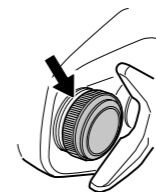
- ・本製品は分解・改造しないでください。リール性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。また、製品保証の対象外となります。
・強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。また、落下により怪我をするおそれがあります。
・ルアーやフームをリールに引っ掛けるのはおやめください。リールを傷つけたり、糸が傷ついたり、フームの成分によってはリールの塗装がはがれたりすることがあります。
・軽量スプールを採用しているため、必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールが変形する場合がございます。ラインテンションを掛けすぎないようにご注意ください。PEラインを巻く際は、500g程度ラインテンションでの糸巻きをお薦めします。下巻きにナイロンラインをご使用される場合は、6号以上の太さをご使用ください。下巻きナイロンラインを巻く際は、ラインテンションを掛け過ぎないように300g程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。
・リーダー結束部がレベルウィンドを通過しにくい場合があります。結束部はロッドのガイドより外側に出すことをお薦めします。
・超薄肉スプールの為、落下などの衝撃で変形してしまうと、スプール性能が発揮されなくなります。お取り扱いには十分ご注意ください。
・糸を巻く際は、リール本体に糸が触れないようご注意ください。フロントカバーやフレームに糸が当たると、糸やリール本体が傷つくおそれがあります。
・輸送時に強い負荷等がかかると、ハンドル等の部品が変形するおそれがあります。梱包状態や取り扱いには十分ご注意ください。
・保管の際は必ず竿から取り外してください。
・リールを長期間（数ヶ月以上）ご使用にならない時は、リール作動部を時々動かすことをお薦めします。
・ドラッグ付リールは、釣行後にドラッグを緩めて保管してください。ドラッグをきつく締めたまま保管すると、ドラッグワッシャーが潰れ、性能が低下します。
・船べりのロッドホルダー穴へリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、ロッドホルダー穴へ入れることはおやめください。リールを破損するおそれがあります。
・通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード、バック、ビニール袋等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。
・海水で濡れたままの状態のまま保管するとスプールが腐食するおそれがあります。巻糸部にあたるように水道水を掛けて海水を十分流してから乾燥させてください。
・水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損するおそれがあります。
・発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。
・リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。
・海水の中に長時間放置しないでください。
・釣り餌が付着した状態で長時間放置をしないでください。
・根掛かりした時に、スプールを指で押さえた状態で糸を切ることはおやめください。スプール変形の原因になります。必ずスプールロックをご使用ください。

●メカニカルブレーキノブ操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFでルアー（ジグ）を落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。メカニカルブレーキノブは、時計回りで締まり、反時計回りで緩みます。クラッチOFFにしてルアー（ジグ）を水中へ投入した際、糸ふけが出すぎない程度に調整してください。また、潮流の影響（二枚潮）やルアー（ジグ）を交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。

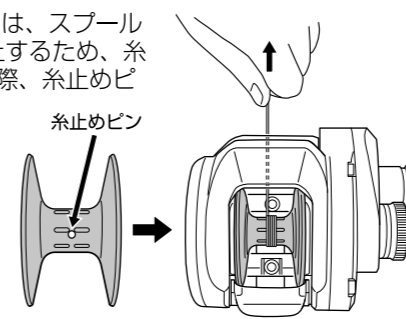
⚠️注意 メカニカルブレーキの締めすぎ、緩めすぎにご注意ください。

メカニカルブレーキノブを締め込みすぎた状態で使用すると、スプールのシャフトが焼きつきを起こし、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くしすぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。メカニカルブレーキノブを緩めすぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの隙間へラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生恐れがあります。更にはスタードラグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失のおそれがあります。ご注意ください。



●スプールにPEラインを巻き始めるときの結び方

●SALTIGA 300シリーズのスプールには、スプール巻糸面PEラインが空転するのを防止するため、糸止めピンが付いています。巻き始める際、糸止めピンにしっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、巻糸を開始してください。

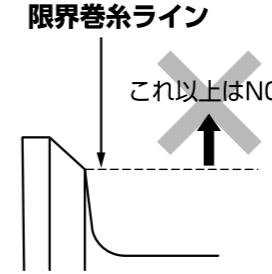


●巻き糸についての注意

・ラインを巻く際は、リール本体にラインが触れないようご注意ください。フロントカバーやフレームにラインが当たると、ラインや本体が傷つくおそれがあります。

⚠️注意

・巻糸量は、右図の通り限界巻糸ラインを上限としてください。それ以上の巻糸量を巻いた場合、段差部分にPEラインが乗り上げた巻糸状態にあるおそれがあります。最悪の場合、フレームとスプールの間（隙間）にラインが噛み込むトラブルが起こりやすくなります。おやめください。



●キャストिंगでのご使用は大変危険です！

①本製品は、オートリターンクラッチ機構搭載のため、勢いよくキャストを行うと、キャストの衝撃でハンドルが回転し、クラッチが返ってしまいます。ルアー（ジグ）が飛んでいかに、周囲の人やご自身にルアーが当たるなど、大変危険です。最悪の場合、ギアや内部パーツの破損に繋がるおそれがあります。絶対にお避けください。

あくまでアンダーハンドキャストで、安全に注意してキャストする程度のご使用を前提にしてください。

※本製品は、キャストングブレーキ機能を搭載しておりません。
※本製品は、ロングハンドル搭載のためキャスト時などのクラッチ返りが起こりやすくなりますので、ご注意ください。

- ②クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。
※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
③オーバーヘッドでのキャストはしないでください。
※クラッチが戻り、糸が切れるおそれがあります。
④スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
⑤PEライン1号以下の細糸使用時において、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
⑥糸巻終わり径は図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることを推奨します。巻糸量が多過ぎると、ラインのトラブルが発生する可能性があります。
⑦フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つく場合があります。糸を巻く際は、糸がリール本体に触れないようご注意ください。
⑧最大ドラッグ力の範囲内での使用をお薦めします。過度なドラッグを掛けた状態での使用は、このリールの適正使用条件を強度的に大きく超えますのでおやめください。
⑨ロッドの弾性を使用しないストレートポンピングは、ギアへの負担が大きく回転性能低下の原因となります。ご注意ください。
⑩標準巻糸量は、UVFソルティガデュラセンサー8+Si² +リーダー5m程度を目安としています。巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

⚠️注意

●SALTIGA 300の特徴

■マグシールドボールベアリング

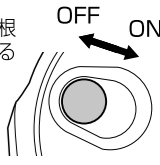
独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の侵入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。本製品では、ソルト域での使用時にもっとも塩ガミによるダメージを受けることが多かったピニンギア部にマグシールドボールベアリングを採用することで、高い耐久性を備えています。

⚠️注意 ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

⚠️注意 ・マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されています。
・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なうおそれがあります。

■スプールロック機構

スプールロックレバーONで、瞬時にスプール逆転をロックできる機構です。根掛かりが外せない場合、ギアやスプールシャフトなど内部パーツに負荷をかけることなく安全にラインカットの対処を行うための機能です。



・使用方法

- ①ボディ側面のスプールロックレバーをONに入れる。
②クラッチレバーをOFFにする（スプールとギアの連結を切り離れた状態）。ここで初めてスプール単体がロックされた状態になり、ラインカット対処へ移ります。
※この状態では、ドラッグは作動しません。
③テンションを掛け、ラインカットを行います。

⚠️注意 ※根掛かり対処以外の使用はおやめください。
※スプールロックレバーONの状態では釣りをしないでください。大変危険です。
※スプールロックレバーONの状態ではハンドルを回転させると、ON状態を知らせるためのクリック音が発生します。
※スプールロックレバーONの状態、かつクラッチレバーをONのままラインカット対処を行わないでください。ギアや内部パーツの破損の原因になります。
※使用糸がPE3.0号以下の場合に使用可能です。使用糸がPE4.0号以上で使用すると破損する可能性があります。

■スタンドカバー

スタンドカバーは、リール・ロッドへの傷付き防止および様々なリールシートとの相性を高めるためガタつき防止を目的として付属しております。お手持ちのロッドに搭載されているリールシートとの相性により、使い分けてください。

⚠️注意 ※スタンドカバーを付けた場合ロッドによっては、リールが付かない場合があります。
※取付部が回転するロッドでは、スタンドカバーが破れる場合があります。
※リールシートを強く締め込みすぎるとスタンドカバーが変形し、スプールに接触してスプールフリーが悪くなるおそれがあります。

●安全上の注意

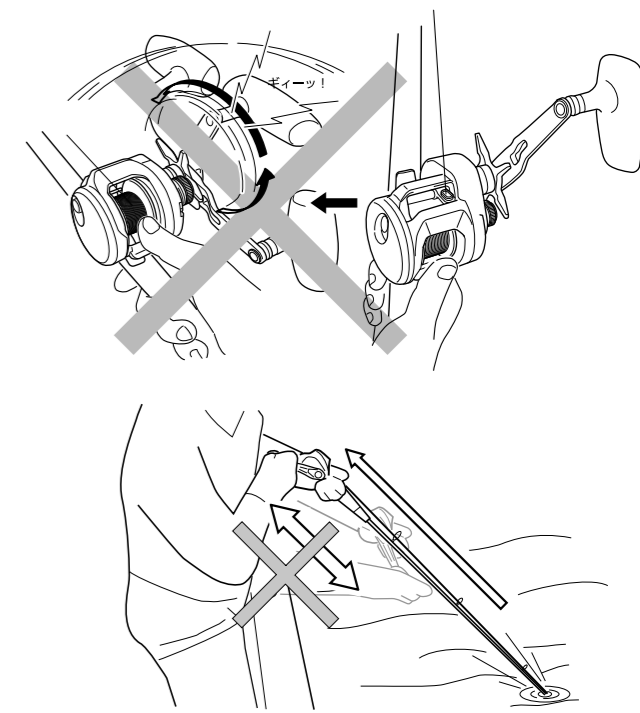
⚠️注意

- ①糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて釣りをしないでください。怪我をするおそれがあります。
②糸が勢いよく出ている時は、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
③糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないようご注意ください。火傷や、指をはさんで怪我をするおそれがあります。
④キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出た後、怪我をするおそれがあります。
⑤ハンドルとボディの隙間に指・衣服等が挟まると大変危険です。怪我をするおそれがあります。
⑥リールはリールシートにしっかりと固定してご使用ください。ガタつきがある場合や固定できない場合は、ご使用を控えてください。釣り中に外れたりすると、怪我をするおそれがあります。
⑦幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。

●安全上・ご使用上の注意

⚠️注意

- ①本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
②本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
③根掛かりした時は、無理に竿をあおらず糸を棒状の物に巻き付け、引っ張って切るようにしてください。竿をあおると、竿折れの原因になります。
④落下等の強い衝撃がかかると、破損する場合があります。また、竿に装着した状態での落下等、竿尻に衝撃があった場合にも、リールの脚部が破損するおそれがありますので十分ご注意ください。
⑤リールのワンウェイクラッチ部に注油しないでください。ハンドルが逆転し、手にあたり怪我をするおそれがあります。
⑥ドラッグ付きリールで遠投する際は、ドラッグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラッグをよく締め付けてから投げするようにしてください。
⑦ドラッグを長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなり火傷をするおそれがあります。
⑧クラッチを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。ラインがロックした状態等で、クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチ及びストッパー、ギア等の破損につながります。
⑨リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないようご注意ください。
⑩使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
⑪塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥がれた場合は、その部分に触れないでください。怪我をするおそれがあります。
⑫シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、ご使用にならないでください。また、上記が手についたまま本機を扱うこともおやめください。本機の表面が変質したり塗装が剥がれたりするおそれがあります。
⑬弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は場合によってはお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。
⑭製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

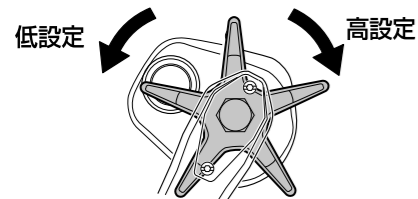


●各部の操作方法 2

●ドラッグ調整方法

・時計回りに回せばドラッグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラッグ設定は低くなります。使用ライン、釣種に合わせて調整を行なってください。

※左ハンドルモデルは回転方向が逆になります。

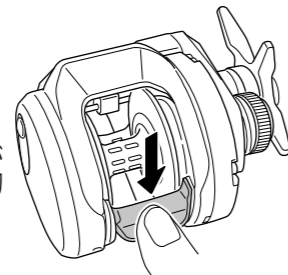


●ハイパータフクラッチ

・幾度となく稼働するクラッチのオンオフにも耐え、作動し続ける最先端のクラッチシステム。
・親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。

親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやく操作が行えます。

※「カチッ」と音がするまで確実に切ってください。



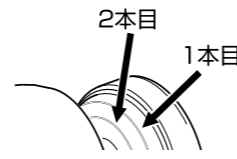
●スプール巻き目安ライン

スプール巻糸部には、目安ラインが引いてあります。

・外周から1本目の目盛りで巻きをした場合：PE1.5号～300m

・外周から2本目の目盛りで巻きをした場合：PE1号～600m

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。



●ハンドルアーム取り外し方法 (※図は右ハンドルモデルです。)

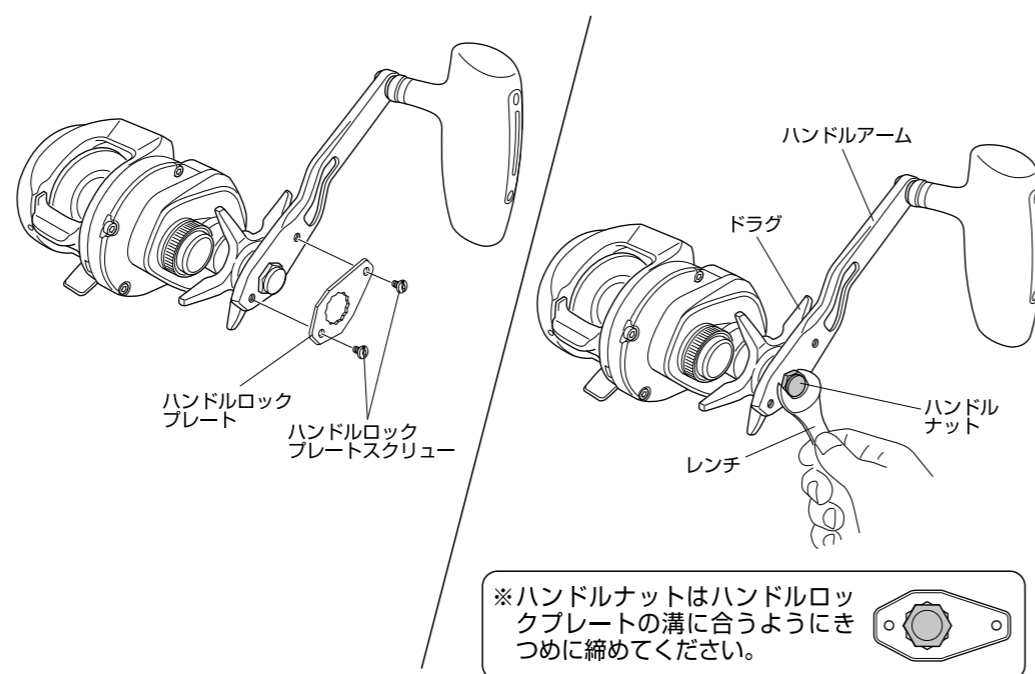
1 市販のマイナスドライバーでハンドルロックプレートスクリューを2箇所緩め(反時計回り)、ハンドルロックプレートを外します。

2 ドラッグを締め込み、市販のレンチを使い、反時計回りでハンドルナットを外します。(左ハンドルは時計回り)

3 ハンドルを外し、ハンドル長の変更およびハンドル交換してください。レンチを使い、ハンドルナットを取り付けます。強めに時計回りに締めてください。(左ハンドルは反時計回り)

4 ハンドルロックプレートを取り付け、マイナスドライバーでハンドルロックプレートスクリューを締めて(時計回り)ください。

※出荷時は85mmです。



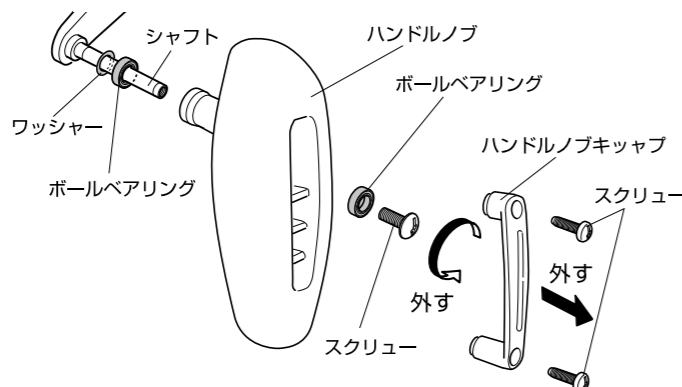
●ハンドルノブ取付方法 (※Lサイズノブと互換性があります。)

●85mmTシェイプパワーノブの場合

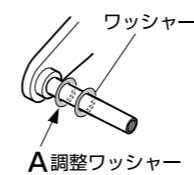
1 市販のプラスドライバーで2カ所スクリューを緩め(反時計回り)、ハンドルノブキャップを外します。

2 市販のプラスドライバーを使用し、スクリューを反時計回りに回し、外します。

※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。



※ハンドルノブのガタが大きい場合は、ダイワ純正RCSオプションハンドルノブに付属しているワッシャーを図Aの位置に追加してください。(追加する場合、ワッシャーを入れ過ぎるとハンドルノブが回転しなくなるのでご注意ください。)



●アノードプロテクションについて

アノードプロテクションとは、リール筐体(アルミ素材)などの金属腐食の進行をやわらげるために、アノードプロテクションプレート(亜鉛製)を搭載した新たな機能のことです。

アルミ等の金属が腐食する代わりにアノードプロテクションプレートが腐食を引き受け、金属腐食の進行をやわらげる効果が期待できます。

アノードプロテクションプレートは、ギアボックス側のアルミ製サイドプレート部へ搭載しています。

使用開始直後からアノードプロテクションプレートの腐食が進行します。

本製品を末永くお使いいただくためにも、釣行毎のメンテナンスが欠かせません。

また、アノードプロテクションプレートは消耗品です。使用環境においても個体差が生じます。本製品のアノードプロテクションプレートはお客様での交換が出来ません。交換が必要な状況であれば、(株)スポーツライフプラネットでのオーバーホール時に交換致します。年に一度はオーバーホールに出すことをお勧めします。

⚠ 注意

※アノードプロテクションは、リール本体すべての錆・腐食を完全に防ぐ機能ではありません。

※アノードプロテクションは、メンテナンスフリーではございません。

※アノードプロテクションプレートは消耗品です。使用を続けると腐食が進行しますが、異常ではございません。

※アノードプロテクションプレートには、絶対に塗料などを塗らないでください。防食効果がなくなります。おやめください。

※アノードプロテクションプレートは、使用状況により腐食スピードに個体差が生じます。

※【●重要! お手入れ方法】をよくお読みいただき、使用後はなるべく早く水洗いを行ってください。

●重要! お手入れ方法

●本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
●錆や塩分の固着によるトラブルを防止する為にも、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
●本製品を末永くお使い頂くためにも、年に1度は(株)スポーツライフプラネットへオーバーホールに出すことをお勧めします。(有料)

<順序>

①使用後は、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。

※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。

・様々な角度から水を掛け流してください。内部に残った海水や塩の結晶を溶かして洗い流すイメージです。

・クラッチは、オン⇄オフを繰り返しながらよく水を掛け流してください。ハンドルやハンドルノブも回しながら水を掛け流してください。

※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けしているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対にお止めください。

・ボディの隙間など、細かな部分が汚れている場合は、綿棒などで汚れを取り除いてください。

②洗浄後は、よく水を切って乾燥させてください。

・よく水を切るために、**ハンドルやクラッチ、スプール等の作動部を動かしながら行うと効果的**です。

・スプールやフレームなどの水分は、タオルなどで拭き取ってください。海水が十分に洗い流されていないと拭きこぼしがあると、乾いて塩分が結晶化してしまい、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。

・**ドラッグを緩め、水抜き穴を下にして陰干ししてください**。また、直射日光を避けてなるべく通風性の良い場所で乾燥させてください。

※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。**乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください**。

※溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。

③以下の注油規定に則り、必ず注油してください。

④保管の際は、ドラッグを緩めてください。

■注油規定 ⚠ ※注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

<注意点>

①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。

②溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。

③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。

※推奨オイル：ダイワリールガードオイル(商品コード:04980019)

ダイワリールガードグリス(商品コード:04980020)

(釣具店様にてご注文ください。)

※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なうおそれがありますので、絶対におやめください。

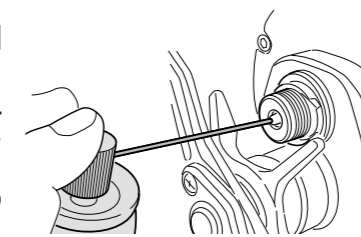
【スプール部ボールベアリングへの注油(オイル)】

①メカニカルブレーキノブを取り外し、内側に見えるボールベアリングに注油します。

(極少量、スプレーオイルの場合一瞬吹き付ける程度で結構です。)

※つけすぎは逆にボールベアリングの本来の回転性能を損なうおそれがあります。

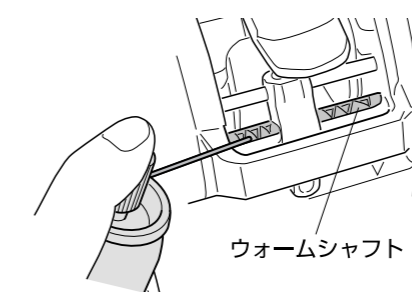
※上記の方法で注油いただくと、ピニオンボールベアリング(マグシールド)への直接注油(注意書き禁止事項)には該当しませんのでご安心ください。



【ウォームシャフト部への注油(グリス)】

①図の様にウォームシャフト部へ注油します。

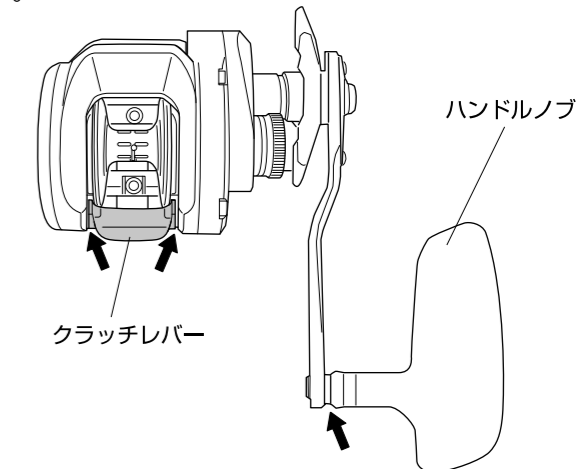
※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてからウエスで拭き取り、その後、グリスを注油してください。



【ハンドルノブ、クラッチへの注油(グリス)】

①図の様にハンドルノブへ注油します。
※グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。

②図の様にクラッチと本体との摺動部にも注油してください。



※水抜き穴への注油は絶対におやめください。

※ギア部等リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。

※落下などのショックを与える事で異音の発生や、スプールフリー性能が変わることがあります。お取扱いは充分にご注意ください。

●展開図&部品表

【パーツ情報】

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



【カスタムパーツ情報】

カスタムパーツ情報については【製品対応検索システム】よりご確認ください



●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品注文の際はご購入の販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00~17:00(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16